

森林が大切なわけ

自然環境を保護することは、私たちの暮らしを守ることに結びついています。森林を例に考えてみましょう。世界では、2010年から2020年にかけて年間470万ヘクタールの森林が失われています。最も大きかったのはアフリカで、次いで南米です。※10 森林が減っていくことで、地球規模での気候変動が引き起こされています。森林は大量の二酸化炭素を蓄えています。火災や伐採によってその機能が失われ、壊されると空気の温室効果ガスがどんどん増えてしまい温暖化が進みます。

また多くの野生動物が絶滅し、生物の多様性が失われてしまっています。しかも野生動物が森を追われることで、人や家畜がさまざまな病原体を持っている動物と接触する機会が増え、動物から感染する病気も増えてしまうのです。

森から直接食料をとり、生活している地域の人にとっては、生きていく場所そのものを奪われるという深刻な問題です。

こうして森林が減っている？!

森林火災

主に農地開発のための火入れや落雷などが原因で、森林火災が発生します。最近では、地球温暖化の影響で干ばつや猛暑などの異常気象が起こり、森林火災がたくさんおきています。

過剰伐採

人口の増加によって、世界中で木材が大量に必要とされています。開発途上国では燃料用木材（薪や炭）、世界全体では産業用木材（製材やビニヤ板）の使用が増えています。

伝統的ではない焼畑農業

昔から行っている伝統的な焼畑農業は、森林や草原を焼いて短い間だけ農地として使用して森林に戻すことをくり返す農法です。農作物をたくさん育てようとして、森林が回復しないうちに同じ場所を使うため、土地がやせやせて森として再生できなくなっています。

農地への転用

生物から作られた燃料（バイオ燃料）が使われることによって、大規模に森林を伐採し、代わりにパームオイルのプランテーションや、トウモロコシ、大豆などの農地に入れかわっています。

コピー用紙やティッシュペーパーに使われるパルプのために人工林に植えかわったり、パンやお菓子に使われるパームオイルのためにアブラヤシ農園が拡大して、熱帯林が破壊されたりしています。日本で使っているもの、食べているものが世界の森林の減少と深く関わっています。

過放牧

草地などで家畜を飼育するときに、土地の広さや牧草などが生えるスピードに対して家畜の数が多過ぎると、草が食べつくされてしまいます。たくさん踏みつけられて草地が生え変わることができなくなり、土地は砂漠化してしまいます。

森林を守るために

自然林や熱帯林をきちんと管理しながら、その土地で暮らす人の生活も守ることが求められています。森の生長に影響を与えないように作られた商品を選ぶこともできますね。たとえば、レインフォレスト・アライアンス認証マークのある製品は人と自然の未来のため、より持続可能な農法で栽培されているという意味です。

自然環境に無理をあたえていっている原因から考えるのも大切です。お肉を食べない日をつくること（ミートフリーマンデー）で人間が食べる肉のために壊される環境について情報を発信するとりくみや、飛行機はなるべく使わないようにして（フライトシェイム）みんなが燃料の問題に注目するよう働きかける運動もあります。

みんなが生まれた時からもっているもの

人間らしく生きるということは、全ての人が生まれながらに平等に持っている権利です。これを基本的人権といいます。全ての人は、生まれた場所、肌の色、信じている宗教、性別などのあらゆる違いをこえて、自分らしく幸せに生きることができているのです。

世の中には自分と違う考えの人もいて、それが気に入らなくなるとイライラしたり、他の人を傷つけてしまったりするかもしれません。でも、自分の人権だけでなく他の人の人権も大切にしなければなりませんね。お互いを大切にする方法を探すこともまた、基本的人権を守ることです。

子どもの権利

「児童の権利に関する条約（子どもの権利条約）」は、1990年、世界の国で子どもの基本的人権を守るために決められました。18歳未満の子どもの人権をもつ人間としてあつかい、大切にしなければならぬことが書かれています。子どもが一人の人間として認められ、生きていくために必要なことを定めた国同士の約束です。

4つの大きな原則

1. 子どもに差別の禁止  
子どもは、(大人と同じで)どのような理由でも差別されてはいけません
2. 子どもの最善の利益の確保  
子どもにかかわる全てのことは、子どもにとって一番いいことを優先して考える
3. 子どもの生きる、育つ、発達する権利の保障  
子どもの命をまもり、子どもが安心して育つことを見守る
4. 子どもの意見を尊重  
子どもは自分にかかわること、自分の考えを自由に表すことができるし、決めたり参加したりできる、またはその気持ちが大事にされる

196の国と地域がこの条約に従っていて、日本は1974年から参加しています。この条約の約束がきちんと行われているかどうかは、「国連・子どもの権利委員会」が見守っています。

クイズ 森林にはいろんな役割がありますが、次のうち当てはまらないものはどれでしょう？

- ①きれいな海をつくる
- ②土砂崩れや洪水など災害をふせぐ
- ③動物のすみかを守る
- ④鬼のすみかを守る

※10 FAO. 2020 | Global Forest Resources Assessment 2020 – Key findings. Rome. <https://doi.org/10.4060/ca8753en>



〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1  
TEL : 075-465-8151 FAX : 075-465-7899  
<https://www.ritsumeikan-wp-museum.jp/>  
製作 立命館大学国際平和ミュージアム学生スタッフ/2021年12月